

# 森林やまがた

No. 54

2001 9月



県産材利用進む：最上町向町地区公民館（玄関）



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

## 目次

県産材利用進む……………	1	普及情報「チェーンソーを 安全に使用するために」…	9
スギを使った新商品の紹介…	2	山形県の名水・湧水……………	10
力を合わせて……………	4	山形県の古木・名木……………	10
森林の中へ遊び心を持って…	5	第11回山形県林業まつり……………	11
森林を訪ねてみよう……………	6	木材市況……………	12
これからの山形県流域 管理システム……………	7		
現地ルポ 「おきたまの木で住宅を」…………	8		

# スギを使った 新商品の紹介



現在、県産スギの主な利用方法として、無人化工場での住宅部材の大量生産、間伐材の土木用資材への活用、産直住宅の展開などがありますが、これ以外にも開発の取り組みが活発になっています。

ごみ置きのほか物置などにも利用されており、自由設計も可能です。組み立てキットの販売も検討しています。

(最上広域森林組合)

背景には、循環資材としての理解が広まってきたこと、樹皮や端材までの徹底利用や付加価値を高め経営基盤を確立する考え方が出て来たことがあると思われまます。これら取り組みの一部を紹介します。



野鳥観察小屋として利用

## 二、小幅板を使った「Qキット」

野地板などの端材を使い、ベンチ・飾り棚などに利用できる優れ物です。同寸法の材に同形の切り込みをいれることで、長さ、幅を自由に調節でき、分解



シンプルな飾り棚



ベンチにもなる。

や持ち運びも簡単です。

(金山町森林組合)

## 三、環境への負担が少ない木製土木用製品

選りぬき材の利用の大部分を占めています。主に土留工、護岸工、沈床工などに利用されて



県民の森のモデル展示場

## 四、木製の雪室

コンクリートの十分の一の木材の熱伝導率に着目し、農林産物の低温貯蔵などに選りぬき材を活用しようと開発を進めています。現在三カ月間の雪の保存が可能となっており、さらに利用しやすい大きさ、低コスト化などを検討中です。

います。県内には技術開発力のある企業が多数存在し、製品の種類は全国有数となっています。(山形県森林組合連合会)

源流の森の樹木マルチング



(森林研究研修センター)

五、地球に優しいマルチマット  
スギの樹皮を圧縮したマットで、歩道への敷き詰めや樹木の雑草防止に利用できます。廃棄物の有効利用、持ち運びの手軽さなどに特徴があります。大きさや厚さなど設計は自由です。



堆雪室を備えた雪室

六、曲げ加工椅子の試作

選りぬき材から作成した集成材を曲げ加工し、椅子などを試作したものです。官公庁などから選りぬき材製品に対する問い合わせが増えており、完成が期待されます。

(株T木工)



曲線のフレーム 斬新

七、さわやかガーデンチップ

木酢液に浸したチップをくん煙処理し、雑菌などが繁殖しにくくしたもので、薬品を使わずに長持ちし、深みのある茶色が特徴です。公園の歩道や樹木のマルチングのほか、室内のプラントナーに修景用としても使用できます。

(株K木材)

八、ロクロで作る伐根の椅子

林地に放置された伐根を使い、ロクロならではの曲線や模様を出すことができます。現在、直径七十cmまで全自動製作ができる機械が完成間近です。

(マウンテンロード)



庭の景観にマッチ

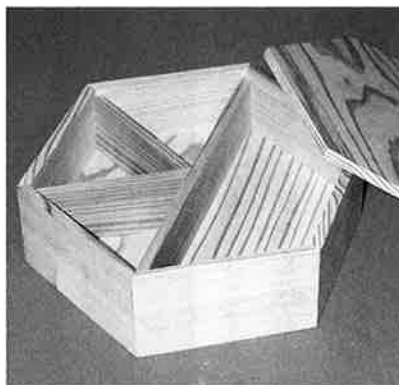


曲線美が人を惹きつける

九、夢のある木の弁当箱

山形らしさを弁当箱にも現そうと試作したもので、平成十三年の県植樹祭などにも使用されました。注文に応じた大きさ形状ほか、記念品にもなる高級感のある製品もあります。

(山形県きこ振興会)



木目がきれいな弁当箱

今後グリーン購入法が施行される中で、選りぬき材などを活用した製品開発はますます重要になり、住宅部材生産との両輪をなしていくものと考えております。なお、文中の( )は問い合わせ先です。〔県森林課〕

活動の少年団  
緑の少年団



力を合わせて

山辺町立作谷沢小学校  
六年 吉 田 唯

今年五月十七日に緑の少年団の入団式がありました。新しく三年生の四人が私達の仲間になりました。私達、作谷沢小学校緑の少年団は、全部で十四人と、とても人数が少ないのですが、みんなで力を合わせて、いろいろな活動に取り組んでいます。まず、一つ目の大きな活動は、学校林の下枝打ちです。私達は、創立記念式の後の活動として、毎年一回、下枝打ちをしています。木の下の方の枝を落として林の中の方まで光が届くようになります。また、下枝打ちをすることで、木目がきれいになると聞きました。下枝打ちの仕事は、けっこう力のいる大変の仕事で



力をこめて、心をこめて 学校林の下枝打ち!!

すが、私達は、人数が少ない分、一人が三人分くらいの力を出してがんばります。でも、そうすることで、学校林が守られているのだと思うと、がんばるのはあたりまえのことだと感じています。

また、クリーン作戦という、ゴミ拾いの活動も年二回行います。少人数のグループに分かれて地区内のゴミを拾いますが、森林の中にゴミが捨てられていることもあり、そういうことをする人がいるのかと思うと信じられないなあとびっくりします。きれいだと思います私達の作谷沢もゴミが多く、クリーン作戦が終わると、ホットする気がします。そして学校では、一人ずつ、プランターに花を植え、育てています。この活動も毎年の活動ですが、花を植える活動はとても楽しく、私は大好きです。また、水かけをしながら、花が育つていくのを見るのも楽しみの一つです。時々、水をやりすぎたり、反対に水をかけ忘れたりして、花を枯らしてしまう年中にはいますが、失敗を次の年に活かすようにしています。学



新入団員をむかえて、今年もがんばるぞ!!

校で、植え方をくわしく教えてもらうので、家でも花を植えて育てている人もいます。学校の玄関がいつも花に囲まれているようにがんばって育てていきたいと思えます。私達の作谷沢小学校は、小さな学校で、年々子ども数も減っていますが、みんなで力を合わせて、ふるさとの緑を守る、緑の少年団の活動を続けていきたいと思えます。





もり  
森林の中へ  
遊び心を持って

森林インストラクター  
西川町 佐藤立輝

今号が発刊される頃は、夏の賑わいも一段落し、秋の夜長に虫達の鳴く声を耳にしながら、過ぎ去りし盛夏の余韻に浸っているのでしょうか。森林や川、海に自然の楽しさや厳しさを学び、祭りや花火、夜店に心躍らせ過ぎす夏は、きつと子供も大人も一緒だと思えます。一人前にもなった大人が今さら何をと思いかもしれませんが、子供の心を持ったまま成長してしまい、この場を借りて両親に一言、「ごめんなさい」と言っておきます。さて実は、この原稿を執筆しているのはいつかと申し上げますと、山形が一番熱く燃え華やかに輝く時、そうズバリ花笠祭

りの真っ最中なのです。山形に来て五年目の夏を私も向かえましたが、行きたいなあと心の中で経のように唱えつつも、締め切りが迫り尻に火が付いた状況となった今では致し方なしとあきらめて机に向かっていている所でもあります。

インストラクターとして  
疑問に思うこと

せっかく森林やまがたの貴重なページをさいてもらって、書かせてもらっている訳ですから自分なりに森林について述べさせてもらいたいと思います。その壺、広葉樹は善で針葉樹は悪か？その二、木を伐採することは自然破壊か？その三、割り箸



枯死材を利用した炭焼体験教室

の使用は自然破壊に繋がるのか？まだまだ多くの疑問が自分の中にありますが、最初のごあいさつで無駄に行数を使ってしまうことを読者の皆様にお詫びしつつ、広葉樹林も針葉樹林も成林であるからには保水能力や土砂流出防備の上では何ら遜色ないと思えますがどうでしょうか。生物多様性の話は別として。そして次に木材は唯一リサイクルできる資源であることを記しておきたいと思えます。



取り出した炭ですぐにバーベキュー

割り箸にいたっては様々な形で利用した材の端材の部分を使っているのですから、紙の無駄使いの方が問題だと思います。私達の日常生活において木なくしては生活できない程様々な形となつて木は活躍しているのです。森林に限らず、川や海へも目を向けてみませんか？三者の営みは繋がっています。森林へ入り確かめ遊んでみてはいかがでしょうか？



愛宕神社

◆ 山 小 白川町から愛宕橋を渡り、左手に市民プール「ジャバ」を見ながら、山懐へと入って行きます。正面に、寛永時代に積まれたという石段が現れ、杉並木の深い緑につつまれた愛宕神社が小さく見えてきます。ここで立ち止まり、右の雑木林に入ると本県が分布北限の「ア

◆ 出 発 私に住んでいる山形市東部は蔵王連峰が迫り、この山容が春夏秋冬それぞれの季節を感じさせてくれています。瀧山、熊野岳、雁戸山等を源とする馬見ヶ崎川は扇状地をつくり上げました。いつも、その扇のかなめから私は山に出かけます。

に手を合わせ、頂上を目指します。コナラやアベマキの林を見上げ、落葉低木類の葉の感触を肩に感じながら、なだらかな登山道を行くと、程なくアカマツ林が姿を現し、視界が開けてきます。足元は岩質となりますので、少しだけ注意し数えるほど歩を進めると、もうそこは二五六メートルの頂上です。ここに



森林を訪ねてみよう



頂上付近

を現している程度ですが、落葉し、この上にうっすらと新雪が被った静けさの中で、月山などを眺望するのも楽しみにしています。そういえば、これからは芋煮会の煙りがあちこちで見られるようになります。さて、一息入れたら双月町方向に下山します。落葉広葉樹林のトンネルが続ぎ、深山にいる

ベマキ”の林が見られます。このブナ科コナラ属のどんぐりの木は、樹皮のコルク層がよく発達しているため、地中海沿岸に生育するコルクガシには劣るものの、コルク製品の原材料として使えるそうです。さて、石段を登りきり、京都の愛宕神社から分神された神仏混合の本尊が祀られた愛宕神社

は古峰神社があり、山仲間が思いの丈を綴ったノートがさりげなく置かれています。周囲は落葉広葉樹で覆われていますが、西方向は樹高が低いいため、山形盆地の広がりを見ることが出来ます。また、遠くに見える朝日連峰の四季の変化を観察するのも楽しみの一つです。今は葉の隙間からわずかに月山が姿

を現してきます。小動物の気配を感じハツしたり、アゲハやタテハ蝶類の姿を確認し自然が維持されていることにホッとしていたりしているうち、展望台が見えてきます。ここは前方が絶壁になっているため、市街地の広角な眺望が楽しめます。頂上では霞城セントラルが足下に見えましたが、ここまで来るとほぼ同じ高さに見えます。ちょうど家も見えてきたので帰りを急ぎます。これからは少し登山道の幅も広くなり、鳥居をくぐると、いよいよ双月橋近くの北側登山口に下山です。

ここまで休みを入れ約一時間三十分。登山しながら雑木林の”もり”を訪ねてみましょう。(県森林課 林業専門技術員)



双月町側登山口

# これからの山形県流域管理システム

## 流域林業活性化センターの今後の活動方向

### ◆はじめに

平成二年に林政審議会で「森林の流域管理システム」が提言され、民有林と国有林を一体的にとらえ、流域を単位とする森林整備や木材の安定供給を総合的に推進するため、これまで県内で置賜、庄内、最上村山の三流域林業活性化センターが主体となり、このシステムづくりに取り組んできました。

### ◆活性化センターの取り組み

民有林の関係者が協議を行い、各活性化センターでは、平成八年度までに、基本方針及び十一年の実施計画を策定し、現在までこの達成を図るため、流域・林業活性化促進対策事業に意欲的に取り組んできました。

この取り組みにより、素材生産

の団地化及び素材需給の調整、間伐の団地化及び利用間伐の有効活用等林業経営者への働きかけや、住宅建築予定者を対象に、県産材で新築した住宅を見学する「ふるさとの木で住まいづくり体験ツアー」及び地域に合った「木の家」の事例集作成等県産材のPR活動を行ったほか、活動の状況を紹介する機関誌活性化センターだよりの発行を行っています。

また、三流域の連携を図るため、「すすめよう ふるさとの木を使った 住まいづくり」の統一テーマのもとに、各流域巡回により、平成十年度から平成十二年度までシンポジウムを開催

してきました。

これら工夫を凝らした取り組みにより、流域管理システムが着々と構築されつつあるところ です。

### ◆活性化センターの課題

活性化センターでは、森林所有者又は素材生産者と木工加工者間の木材安定取引の橋渡しを行うなど、徐々にその存在が森林・林業の中で大きくなってきていますが、その一方で、林業・林産業の不振から、センターに



ふるさとの木で住まいづくりの体験ツアー

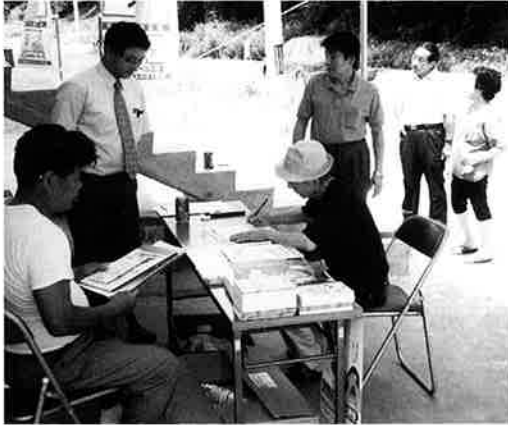
対する期待とは裏腹に、たくさんの課題に直面することとなりました。

厳しい局面に立たされている事業者や経営者が持つそれぞれの不安や不満を解消するため、センターが核となりネットワークづくりを進め、具体的に対策を講じてゆくことが大きな課題となっております。

### ◆おわりに

この度「森林・林業基本法」が、社会における森林・林業の位置付けを明確なものとするために制定されました。このことにより、流域林業活性化センターに対する期待は、ますます大きくなっていくと思われれます。

一步一歩着実なあゆみを進めるため、三流域林業活性化センターでは、今年度「木と暮らしを考えるフォーラム(仮称)」を開催します。〔県森林課〕



**現地ルポ**

**「おきたまの木で住宅を」**

**西置賜地区住宅支援の試み**

近年、テレビ・新聞等で、非木質系の住宅や外材中心のプレ

の下請けや休業等に追い込まれた例もあります。

置賜地域でも、大手ハウスメーカーの住宅が進出しつつあります。このため、主として口コミで商売をしてきた地域の中小大工・工務店等は受注が減少し、止むを得ず大手ハウスメーカー

置賜の気候風土に適応するスギ材を利用した住宅を建築するところが、地域の森林整備の推進や県産材の需要拡大、地元住宅関連産業の活性化につながるから、中小の大工・工務店等を支援していく必要があります。

そこで、今年度から西置賜林業振興協議会では、PRの苦手な大工・工務店等を対象とし、構造・完成内覧会や見学会、モデルハウスでの木造住宅や県産木材の良さの説明等大手ハウスメーカーに負けないPRの支援をしています。

具体的には、県産材を多用した



木造在来構法住宅に対して、PR用木製看板、のぼり旗、パンフレット等を提供し、内覧会やモデルハウスで利用してもらい、必要に応じて職員も派遣する内容です。看板には建築施工会社名、設計会社名、資材を納入した製材工場名が表示されています。支援窓口は西置賜ふるさと森林組合で、七月末日までに、一定基準に適合した新築住宅四軒を支援しています。

また、小国町では商工会が中心となり、建築士会、建設業組合、建築組合、木造建築協同組合、木材製材組合、素材生産協同組合等で構成される「小国町の森林を考える会」が四月に発足し、「自然環境と住文化の共生に向けて」をテーマに活動を始めています。これは、「地産地消」の発想で、自然環境を保全しながら、自然素材を充分に活用し、伝統技術を継承する職人の育成や新規就業者、退職技術者の再雇用場の提供、地場産材を使用することによる地域経済の活性化等を目的としています。第一弾として、山大農学部菊間教授による講演会を九月一日に開催します。将来的には住宅関連産業界間のネットワークを深め、情報やサービスの共有、住宅支援補助金や相談窓口の創設等を目指していきます。

〔置賜総合支庁 西置賜森林整備課〕



# 普及情報 チェーンソーを安全に使用するために

近年、森林ボランティアなどで

初心者がチェーンソーを使用する機会が増えています。チェーンソーは、短時間に太い木を切るこ

とができ大変便利ですが、誤った

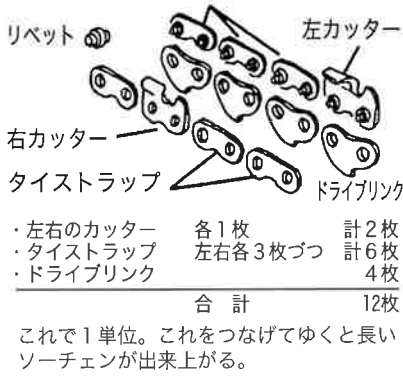
使い方をすると、大変危険であり、

ときには死傷災害を招くことも

あります。そこで、チェーンソーを安全にそして能率的に使用

していただくため、ソーチェーンと目立てについて紹介します。

図-1 リベット付きタイストラップ



チェーンソーという名前はチェーン（鎖）とソー（鋸）をあわせたものです。つまり、チェーンのような鋸刃が回転し木を切る機械です。この回転する鋸刃の部分を「ソーチェーン」といいます。

ソーチェーンは図-1のようなようにカッター、ドライブリンク、タイストラップがリベットでチェーン状に連結されています。木を切っているのは「カッター」と呼ばれる部分です。カッターは、特殊工具鋼でできており、非常に硬くできております。カッターには上刃と横刃があり、上刃は溝の底を削り起こす働きをし、横刃は溝の幅と深さを決めて切り込

## 一、ソーチェーン

## 二、目立ての方法

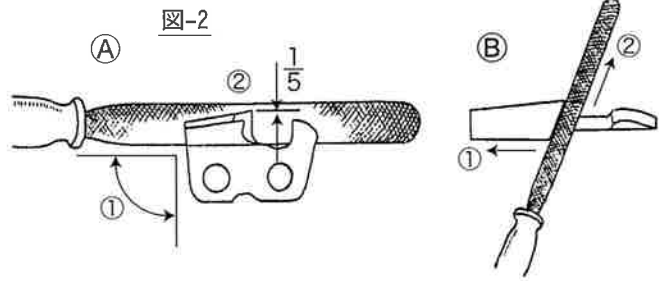
チェーンソーは、刃物ですから使っているうちに摩耗してきます。ですから、適宜「目立て」を行わなければなりません。

目立ては、丸ヤスリで行います。丸ヤスリをカッター（すなわちガイドバー）に

対して、直角かつ水平にあてます。

（図-2 ①A）。

また、カッターの刃先からヤスリが五分の一位出ていなければ出ていなければなりません。（②）。Bのように刃先とヤスリは密着させます。ヤスリとカッターを①の矢印の方向にしっかりと押し付け、その力を抜かないで前方の②に押し出します。



目立て角度、ヤスリの太さ、デプスゲージ（カッターの食い込みの深さを調節）の高さなどは、ソーチェーンのタイプの毎に定められており、ソーチェーンを購入した際のパッケージの箱に記載されています。箱を捨てる前に使用しているソーチェーンの種類を確認しておきましょう。なお、詳しくは、『伐木作業安全衛生必携』（林材業労働災害防止協会発行）をお読みください。

〔県森林課 林業専門技術員〕



最上郡舟形町の最南端、松橋川上流に戸数十戸の松橋部落がある。この部落に、薬師如来像を安置した「三蔵院」があり、松橋の薬師様は特に眼の病が治るとのこと、多くの信者を集めたという。この薬師如来座像は昭和35年に舟形町郷土研究会員によって調査され、長い間のヴェールを脱いで、県の貴重文化財にも指定されている。現在はこの下部の県道側に湧き出ているのが「薬師の水」と呼ばれている。  
(山形県森林協会)

山形県の名水・湧水⑳

# 薬師の水

## 舟形町大字松橋

案内図



鶴岡市大字水沢、熊野神社の背後にあつて、古くから「石山の大スギ」の名で知られていた。ゆるい斜面にあるため北側は南側より一・二桁ばかり高く、高地面での根周は十五桁、その上一・五桁(自通り)幹周は十桁である。昭和二年、史跡名勝天然記念物保存法による天然記念物の指定を受けた当時は、高さ四十五桁に達する巨樹であったが、昭和七年の落雷、昭和三十二年の台風によってその主幹はおよそ二十四桁で折損した。樹齢は一千年を下らないものと推定される。  
(山形県森林協会)

山形県の古木・名木㉑

# 熊野神社の大スギ

## 鶴岡市大字水沢

案内図



# 第十一回山形県林業まつり

「すてきだね 木とのふれあい 森との出会い」

今年でいよいよ第十一回目を数える、『山形県林業まつり』が左記のとおり開催されます。

## 一、日時

十月十三日(土)

十二時～十六時

十月十四日(日)

九時～十五時

## 二、会場

山形国際交流プラザ

(ビッグウイング)

## 三、主な催し内容

- 森林、林業、第五十三回全国植樹祭などをわかりやすく紹介するテーマ館
- 日曜大工材料の販売や、各種間伐材製品を展示・販売する特設コーナーの設置
- 県産きのこを堪能できる『き



のこ村』の設置

○青空親子木工教室の開催

○県内各地の地域芸能を披露する「郷土の集い」

○木工品、特産品を展示販売する「郷土の特産品市」

○緑化樹のプレゼント

その他、楽しい企画盛り沢山で、皆様のご来場をお待ちしております。  
〔県森林課〕

広げよう 緑をはぐくむ輪

## 財団法人 山形県みどり推進機構

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265

TEL (023) 688-6633

FAX (023) 688-6634

## 山形県林業機械化協会

林業機械化の先端情報をすばやく提供

会長 奥山 幸作 (株)ヤンマー農機山形 村山支店)

会員社名	(所在地)	会員社名	(所在地)
(株)ヤンマー農機山形村山支店	(村山市大字蘆山)	日立建機(株)山形支店	(東根市大字若木字七窪)
(株)村上キカイ	(酒田市両羽町)	(有)東栄重車輜	(天童市大字清池字金石段)
(株)村山商工	(米沢市松が岬)	コマツ山形(株)	(山形市蔵王成沢字町浦)
東北建設機械販売(株)山形支店	(天童市高嶺字金石段南)	エレクトラックスジャパン(株)ハスカー-博業総研新	(盛岡市津志田)
(有)林和機工	(山形市馬見ヶ崎)	東北ヤンマー(株)東日本営業部	(仙台市宮城野区福田町南)
山形県森林組合連合会	(山形市蔵王成沢字町浦)	(株)筑水キャニコム仙台センター	(仙台市太白区茂庭字人來田西)
東北共立エコー(株)山形営業所	(東根市大字郡山字ノギハ)	(株)南星仙台支店	(仙台市太白区西中田)
イワフジ工業(株)営業本部東北支店	(水沢市桜屋敷西5-1)	(株)山工社	(山形市宮町)

山形県林業機械化協会事務局 山形市桜町2-35(林業会館内) TEL 023-633-1536 FAX 023-624-0804

21世紀の緑を美しく、  
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団法人

山形県林業コンサルタント

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800  
FAX (023)647-1801

—全国食用きのこ種菌協会会員—  
〒999-7757  
山形県東田川郡余目町払田字村東17-2



株式会社  
河村式種菌研究所

きのこ作りなら。

◎形質を誇る!

○しいたけ・なめこ

お問い合わせは：電 話 0234(42)1122(代)  
F A X 0234(42)1124  
青森県営業所：青森県三戸町同心町 電話 0179(23)3582

ひらたけ・まいたけ・ぶなほりたけ  
くりたけ・たもぎたけ・むぎたけ  
その他きのこ種菌



素 材	樹材種	材長	品等	1m <sup>3</sup> 当り価格	前月比較		
	スギ小丸太	3.65~4.00m	込	12,500円	± 0		
スギ中丸太	//	//	15,900円	-100			
スギ大丸太	//	//	18,700円	200			
米マツ中丸太	6.0m~	普通材	19,300円	-100			
米マツ大丸太	//	//	23,000円	100			
北洋アカマツ中丸太	3.8~	//	17,000円	± 0			
製 品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m <sup>3</sup> 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	60,600円	± 0
米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	//	57,600円	300	

木  
材  
市  
況  
(八月一日現在)

印刷所  
渡辺活版所  
定価  
一部二〇円

森林やまがた9月号 平成13年9月1日発行 通巻第54号

編集 山形県森林協会 山形県

発行 山形県森林協会

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内

TEL 023-631-6566 023-622-8823

FAX 023-631-6573